



ふるさとの川・荒川づくり協議会総会



報道機関等訪問

伊藤会長、川久保副会長、高橋事務局長は、福島民友新聞社・福島民報新聞社・テレビユー福島の各報道機関と国土交通省福島河川国道事務所・福島市建設部・同農政部を訪れた。

協議会として今後も積極的に活動して、荒川の水質を守りたいので協力して欲しいと要望した。



荒川づくり協会の伊藤会長ら来社
就任あいさつ
福島市で荒川の清流を守る活動を続けている「ふるさとの川・荒川づくり協議会」の伊藤賢之会長、川久保真副会長、高橋一夫事務局長は就任あいさつのため十六日、福島民報社を訪れた。伊藤会長らは「地域挙げて取り組んでいる全国的にもまれな活動。今後荒川の水質と周辺環境を守りたい」と語った。

告知

荒川探訪会 7月30日(日)



知られざる秘境 天沼のへつり(樋のくち)

平成18年度 定期総会

平成17年度事業報告及び決算・監査報告がなされ承認された。次に18年度事業計画及び予算案が承認された。続いて役員改選に移り、伊藤会長以下の新役員が選出された。

役員紹介

会 長	伊 藤 賢 之
副 会 長	渡 辺 富志夫
"	川久保 真
"	斎 藤 忠 雄
幹 事	平 澤 久
"	佐 藤 和 子
"	國 原 よし子
"	本 田 常 次
"	高 野 昭 吾
"	渋谷 浩 一
"	佐々木 庄 司
監 事	橋 本 正 男
"	油 井 健 治
事務局長	高 橋 一 夫



ふるさとの川・荒川づくり協議会総会

ふるさとの川・荒川づくり協議会

福島市民の憩いの水辺であり、生活の重要な一部となっている私たちの荒川が平成9年に当時の建設省(現:国土交通省)から「ふるさとの川」に認定されたのを契機に、平成9年3月「ふるさとの川・荒川づくり協議会」は設立されました。会員をはじめ沿川の町内会や小学校など多くの方々の協力を得ながら、川と人との強い繋を育成する様々な活動を繰り広げています。

平成18年度の事業計画

事業の実施に当たっては、『見る・触れる・聞く・取る・歩く・作る』といった感覚を使った体験を大切に、経験から心を育てる事業を計画します。

●運営ポイント

1. 荒川を舞台に、生涯学習を实践。地域に根ざした活動を活発化します
2. 大学等の教育機関との連携を図ります
3. 行政の手のまわらない植生・樹木の調査、水生生物の調査、史跡の調査 等
4. 行政に頼らず、行政に頼られる協議会を目指す。

●新しく展開する事業

1. 荒川に潜在する“宝もの”発掘…登録有形文化財としての登録を目指します
これにより、荒川流域の観光における誘客要因を活性化します
【候補】●江戸時代の霞堤 ●地蔵原堰堤 ●荒川砂防第5堰堤など
2. “荒川大学”の開校…6コース程度を予定
教育機関と連携し、「フィールドでの観察+講義」という形式で継続的な講習会を実施します。一定数を受講した方を“荒川案内人”として認定。地域での様々な活躍へ道を開きます
【自然環境(水環境・植生など)/歴史(地域・生活工作物など)】

荒川クリーンアップ大作戦

みんなの「力」で景観日本一の
荒川を目指しませんか?

とき/平成18年6月25日(日)
午前6:00~8:00頃まで

平成18年度事業計画

事業名	実施日	備 考
荒川大将塾	5月21日	荒川の支流(産ヶ沢)の探訪(民友の森)
	7月1日	ホテル観察会(荒川発電所付近)
	9月10日	秋の植物・昆虫観察会(水林自然林)
	2月4日	冬の自然観察会(水林自然林)
荒川フェスティバル	5月14日	荒川フェスティバル実行委員会
荒川クリーンアップ大作戦	6月25日	河川清掃作業(河川愛護月間 7月1日~31日)
	10月	除草作業
荒川探訪会	7月30日	初夏の自然観察(天沼のへつり、さざれ石)
	10月	紅葉探訪 自転車で四季の里~御倉邸~荒川資料室(いも煮会開催)
サケ稚魚放流会(共催)	19年2月	吉井田小学校への案内呼び掛け

協賛事業名	実施日	備 考
荒川ハーフマラソン	4月16日	県北陸上競技会主催
うつくしま・水ウオーク	5月13日	福島民友新聞社
あづま荒川クロスカントリー大会	12月	あづま荒川クロスカントリー大会実行委員会